

## 教員養成に係る教職科目担当教員（専任）の経歴・専門分野・研究業績等

雨宮 和輝

職名・役職名	専任講師
学 位	教育学修士（早稲田大学）
略 歴	2016年～2018年：早稲田大学教育学部教育学科教育学専修 助手 2020年～2024年：早稲田大学大学史資料センター 非常勤嘱託 2024年～現在に至る：高崎商科大学専任講師
担当科目	道徳教育指導論、教育原理、学校の制度、教育課程論
専 門	教育史（日本教育史）
主要業績	2016年度単著「大学「昇格」による仏教系私学の教育目的・学部組織の変化—駒澤大学を事例として—」『関東教育学会紀要』第43号 2017年度単著「大学令下における仏教系私学の連合大学設立に関する考察—教育目的・学部組織の変化に着目して—」『早稲田教育評論』第31巻1号 2020年度年「日本の江戸時代の教育」安彦忠彦/藤井千春/田中博之編著『新版 よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房 2020年度単著「大正期における神道系私学の大学「昇格」に関する—考察—国学院大学の教育方針・学科組織の変化に着目して—」『関東教育学会紀要』第46号 2022年共著「新制中学校の成立に関する実証的研究—戦後教育の諸原則の確立と展開を中心に—」『早稲田教育評論』第36号-1 2023年度単著「新制中学校の教育課程における教科外活動についての—考察—特別活動と他領域との関係を中心に—」『早稲田大学教育学会紀要』第24号/「1950年代の新制中学校における特別教育活動に関する—考察—千葉県山武郡組合立日源中学校の事例を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』別冊、第31号-1 2024年度単著「大正期における真言宗専門誌『六大新報』と「大学と道徳」の関係にかんする実証的研究—関係記事傾向の検討を手がかりに—」『2024年度高崎商科大学教職研究年報（前期号）』 2025年度単著「1918年～1921年における真言宗専門誌『六大新報』の内容分析—「大学令」（大正7年）への対応と国民の「教化」という観点から—」『高崎商科大学紀要』第40号/「大正中期真言宗専門誌『六大新報』に見る大学の設立と「宗教教育」に関する研究」『2025年度高崎商科大学教職研究年報（前期号）』
社会貢献	TUC SUMMER 2025 キッズラボ 2025 に参加

下山 寿子

職名・役職名	教授
学 位	文学修士（立教大学）
略 歴	1996年～1999年立教大学文学部教育学科助手、2002年～2004年高崎商科大学専任講師、2004年～2011年同大学助教授・准教授、2011年～現在に至る 同大学教授 臨床心理士、カウンセリング心理士、ガイダンスカウンセラー
担当科目	学習・発達論、生徒・進路指導法、教職実践演習、教育実習（事前指導）、教育実習、心理学（心理と行動）、介護等体験指導、日本語リテラシーⅢ・Ⅳ、学びの技法（会計学科・経営学科）、短期大学部・心理学（生活と心理）
専 門	教育心理学、学校臨床心理学、教育心理学説史研究、近代日本教育心理学における「教育病理」の系譜と心理・教育ジャーナリズム。
主要業績	2004年度共著『新臨床心理学』/共著『コラージュ療法・造形療法』 2008年度共著『障害児の理解と支援』 2009年度単著『近代日本教育心理学における「教育病理」の系譜と心理・教育ジャーナリズム』（科研費報告書） 2013年度単著「芸術療法としてのコラージュ制作の解釈学的基礎づけに関する基礎的研究（1）－自傷行為を訴える女子学生を例として－」『高崎商科大学紀要』第28号 2015年度単著「雑誌『児童研究』は「教育病理」現象をどう伝えたか（1）」『高崎商科大学紀要』第30号 2016年度単著「産婆（助産婦）に見る生命尊重の専門性、論理性・自律性に関する史的考察－近代日本における準専門職形成史の研究（1）－」『高崎商科大学紀要』第31号 2017年度単著「近代日本準専門職（「特別支援教員」）形成史研究（2）－教育総合雑誌『教育実験界』①何故、このメディアに着目するのか－」『高崎商科大学紀要』第32号 2020年度単著「雑誌『児童研究』にみる『教育病理』『教育病理学』の意味展開に関する研究－『教育病理学』欄（1907～32年）を中心として－/「明治後期における『教育病理』概念の移入と普及に関する基礎的研究－雑誌『児童研究』の記事（1898年11月～1907年6月）を手がかりとして－」『児童研究』（日本児童学会）第99巻 2022年度単著「明治中期の雑誌『大日本教育会雑誌』にあらわれた『教育病理』情報の基本的性格に関する史的的研究」『高崎商科大学紀要』第37号/「学習と発達における『診断』の意味と役割－医学的視点を手がかりとして－」『TUC高崎商科大学教職課程年報（『TUC教職課程授業づくり省察集』合併号）』 2023年度共著「日本近代『学習指導案』の形式起源の再整理と未来の『教科・科目』『特活』・『総合的な探究の時間』のその形式に関する試論的研究」『2023年度 高崎商科大学教職研究年報（前期号）』/「日本の高校『総合的な探究の時間』の『目標・内容』・教育課程上の位置づけと『教師の先行研究批判的検討力育成』に関する言説的研究」『2023年度高崎商科大学教職研究年報（後期号）』/「2017年11月以降刊行

	<p>の教職課程テキストシリーズの編集方針と『教育心理学』『発達・学習』の書誌的検討に関する考察』『2023年度高崎商科大学教職研究年報（後期号）』単著「進路指導・キャリア教育における『進路情報』の意義と役割に関する研究－1886年から1899年までの刊行の『進学案内書』に見る『障がいを負う児童・生徒の学校選択情報－』」/「明治中期の教師向け教育雑誌メディア『教育報知』と『教育病理』情報」『高崎商科大学紀要』第38号</p> <p>2024年度共著「令和4年『生徒指導提要』と『総合的な探究の時間』・『特活』の平成29・30年版学習指導要領解説との『重なり記述』の意味に関する一試論」『2024年高崎商科大学教職課程研究年報（後期号）』/単著「近現代日本における『異常児（童）』と生徒指導に関する言説的研究」『2024年度高崎商科大学教職研究年報（前期号）』/「千葉教育会雑誌/千葉教育雑誌における『教育病理』『教育病理学』記事の内容分析－1884年（明治17）～1912年（明治45）を対象として－」『高崎商科大学紀要』第39号/「日本で最初に『教育病理学』を紹介した教育学者・谷本富の『教育的病理学』について－1896年8月25日刊行『上野教育会雑誌』掲載記事を手がかりに－」『2024年度高崎商科大学教職研究年報（後期号）』</p> <p>2025年単著「『宮城私立教育会雑誌/宮城教育会雑誌/宮城県教育雑誌/宮城県教育会雑誌』における『教育病理』『教育病理学』記事の内容分析－1884年（明治17）から1912年（明治45）を対象として－」『高崎商科大学紀要』第40号/「明治期の教育雑誌『教育時論』所載の『教育病理』関係記事の内容分析－時期区分とその特質」『日本児童学会』第104号/「職業指導・進路指導（キャリア教育）における生徒の意識言語化の枠組みに関する一試論－コラージュ技法を用いたHR活動における可能性を手がかりに－」『2025年度高崎商科大学教職研究年報（前期号）』</p>
社会貢献	<p>ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク会員（群馬大学男女共同参画推進室主催） 藤岡市教育委員会事務点検評価委員（藤岡市教育委員会）</p>